

## 平成 24 年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：5 件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
かわい てるよし <b>河合 輝欣</b>  特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム 会長 株式会社ユー・エス・イー 取締役会長	ASP・SaaS の安心・安全な普及・促進を図るために設立した「ASP・SaaS・クラウド普及促進協議会」に当初から委員として参画し、分野毎の事業者向けガイドラインの策定に際し、積極的に寄与するなど、情報通信の利活用の推進に多大な貢献をした。
かわぐち ふみお <b>川口 文夫</b>  一般社団法人 中部経済連合会 名誉会長	多年にわたり、東海情報通信懇談会会長として、産学官連携の取組に積極的に関与するとともに、中部経済連合会の代表として、地域における ICT 政策の具体化に尽力するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。
たかはし ひろし <b>高橋 紘士</b>  国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野 教授	多年にわたり、視聴覚障害者の情報取得の推進に取り組むとともに、「デジタル放送時代の視聴覚障害者向け放送の充実に関する研究会」の座長として、字幕・解説放送などの普及と更なる拡充提言の取りまとめに寄与するなど、情報通信の利活用の推進に多大な貢献をした。
どい みわこ <b>土井 美和子</b>  株式会社東芝 研究開発センター 首席技監	ヒューマンインターフェース技術の研究開発に携わり、情報通信分野の広範な研究開発において優れた成果を収めるとともに、情報通信審議会などの場で ICT 政策の重要事項の検討に寄与するなど、情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
もり みちもと <b>森 紀元</b>  株式会社シー・ティー・ワイ 代表取締役会長兼 CEO 社団法人日本ケーブルテレビ連盟 監事	一般社団法人日本ケーブルラボやデジタルCATV実験協議会の設立に尽力し、ケーブルテレビの技術開発体制の整備・充実を図るとともに、ケーブルテレビシステムの早期デジタル化を導くなど情報通信の発展に多大な貢献をした。

2 団体：4件

(敬称略：五十音順)

団体名	功績の概要
<p>ジャパン・クラウド・コンソーシアム</p> <p>(会長：宮原 <small>みやはら</small> 秀夫 <small>ひでお</small>)</p>	<p>東日本大震災において、クラウドコンピューティング技術を活用した避難・救援物資・医療情報の提供や、円滑な自治体業務の再開支援などを行い、震災からの復旧・復興に大きく寄与するとともに、クラウドサービスの普及・発展を図るため諸課題解決に積極的に取り組み、情報通信の利活用推進に多大な貢献をした。</p>
<p>新地町 <small>しんちまち</small></p> <p>(町長：加藤 <small>かとう</small> 憲郎 <small>のりお</small>)</p>	<p>協働教育を推進するため、小・中学校においてICT機器や教育アプリケーションなどを活用した教育環境の情報化を推進するとともに、東日本大震災において避難所となった小学校のICT機器を活用し、被災情報の収集、掲示及びレクリエーションのツールとして被災者の心のケアを行うなど、地域の安心・安全向上に多大な貢献をした。</p>
<p>東北コミュニティ放送協議会 <small>とうほく ほうそうきょうぎかい</small></p> <p>(会長：玉井 <small>たまい</small> 恒 <small>ひさし</small>)</p>	<p>東日本大震災発生時から、きめ細かな救援情報やその後の復興情報を被災地に提供するとともに、コミュニティ放送局がない被災自治体の臨時災害用FM局の立ち上げや運用支援に尽力するなど、地域の安心・安全向上に多大な貢献をした。</p>
<p>南相馬市 <small>みなみそうまし</small></p> <p>(市長：桜井 <small>さくらい</small> 勝延 <small>かつのぶ</small>)</p>	<p>ホワイトスペース（※）の活用により東日本大震災の被災者に向けた地域限定の映像情報提供実験を「南相馬チャンネル」として開始するとともに、ネット配信と組み合わせ、全国に避難している南相馬市民に向けて地域情報を提供するなど、地域の安心・安全向上に多大な貢献をした。</p> <p>※放送用などある目的に割り当てられているが、地理的条件や時間的条件によって他の目的にも利用可能な周波数</p>